

## ラグビーワールドカップ 2019 関連資料

### ○「リニモ沿線地域づくり重点プラン 2016-2020」より抜粋 (p31~32)

#### ⑨広域連携による観光の推進

愛知県内には、リニア・鉄道館やトヨタ産業技術記念館等、「のりもの」や「モノづくり」といったリニモ沿線の施設と同様のコンセプトを持った観光資源がある。また、県営名古屋空港では、航空機に関する見学者受入拠点施設の整備も進められており、こうした観光資源と、リニモ沿線施設を結ぶモデルルートを開発することにより、日本版 DMO の推進等、地域の観光を推進するプラットフォーム形成促進の一助とするとともに、県内はもとより、首都圏や海外からの訪日外国人も視野に入れ、沿線地域への誘客を図る。

#### (域外観光施設と連携した誘客の推進)

- 沿線地域外の観光施設と連携し、のりもの観光や産業観光等のテーマで、外国人、ファミリー、女性等の利用者層を考慮しつつ、地域外の観光施設等と周遊する広域観光モデルルートを作成する。
- 岐阜県と連携してリニモ沿線の産業観光施設を盛り込みながら、モニターツアーを実施しており、その成果を踏まえ両地域の産業観光施設のネットワークや体験型バスツアー等の旅行商品造成を目指す。
- ラグビーワールドカップ 2019 等のスポーツ大会やその他のイベント等で愛知県を訪れる人々を沿線地域に取り込むための情報発信や観光ルートを検討し実行する。

#### (プロモーション活動の実施)

- 広域からの誘客を図るため、名古屋駅や岐阜駅等の交通の要衝はもとより首都圏においても、リニモのキャラクターとして親しまれている「リニモたん」や沿線地域のキャラクター等を用いて、沿線地域の魅力を発信するなど、産学官が一体となったプロモーション活動を実施する。

### ○2019 年ラグビーワールドカップ日本大会 大会概要

①開催時期：平成 31 年（2019 年）9 月 20 日（金）～11 月 2 日（土）（44 日間）

②参加チーム：20 チーム

プールA	プールB	プールC	プールD
アイルランド	ニュージーランド	イングランド	オーストラリア
スコットランド	南アフリカ	フランス	ウェールズ
日本	イタリア	アルゼンチン	ジョージア
欧州予選	アフリカ予選	アメリカ合衆国	フィジー
欧州・オセアニアプレーオフ	敗者復活最終予選	トンガ	米大陸予選②

#### ③試合形式

予選プール 5 チーム×4 プール（プール内総当たり戦）40 試合  
 決勝トーナメント 準々決勝、準決勝、3 位決定戦、決勝 8 試合

合計 48 試合

#### ④試合会場：全 12 会場

都市名	試合開催会場	収容人数
札幌市	札幌ドーム	4.1 万人
岩手県・釜石市	釜石鶴住居復興スタジアム(仮称)	1.6 万人
埼玉県・熊谷市	熊谷スポーツ文化公園 熊谷ラグビー場	2.4 万人
東京都	東京(味の素)スタジアム(開幕戦)	5.0 万人
神奈川県・横浜市	横浜国際総合競技場(決勝戦)	7.2 万人
静岡県	小笠山総合運動公園エコパスタジアム	5.1 万人
愛知県・豊田市	豊田スタジアム	4.5 万人
大阪府・東大阪市	東大阪市花園ラグビー競技場	3.0 万人
神戸市	神戸市御崎公園球技場	3.0 万人
福岡県・福岡市	東平尾公園 博多の森球技場	2.3 万人
熊本県・熊本市	熊本県民総合運動公園陸上競技場	3.2 万人
大分県	大分スポーツ公園総合競技場	4.0 万人

#### ⑤特徴：アジアで初のワールドカップ

ラグビー伝統国以外での初のワールドカップ

7 人制がオリンピック種目に採用されてから最初の大会